高3 スタンダードレベル英語 リーディング<英文解釈編>

The future starts today, not tomorrow.

Pope John Paul II

未来は今日始まる。明日始まるのではない。

ヨハネ・パウロ２世

星の数ほどある塾・予備校・教材の中から，この講義を選んでくれてありがとうございます。
「画面越しの講義」ということに多少の抵抗と不安があるかもしれません。
無機質な淡々とした授業，わかりやすさを強調するあまり緩いテンポの授業，受験生を子ども扱いするかのような綺麗すぎる板書とゆっくりした話し方…
もしかしたらそんな授業を想像するかもしれません。

また，見栄えだけを意識した過剰な効果音と編集，再生回数を上げることに躍起になったタイトルやサムネイル，世間で流行った方法論を安易にコピーする教え方…
もしかしたらそんな動画を想像するかもしれません。

しかしこの授業は，そういった世間の価値観をすべてリセットし，「本当の英語の考え方」と「リアルな授業」を追求し，すべての領域において，プロフェッショナル集団が作り上げてきたものです。

「新しい英語の世界」を知ってください。
「本当の授業」を体感してください。
そして「憧れの大学」に合格してください。

受験勉強というのは，人が一気に成長できる素晴らしい機会です。
英語の文法・数学の公式・理社の知識… 天才たちが血の滲む努力をして手に入れた「世の中の真実」を一気に学べるわけです。
こんな濃密な時間は，一生の中に２度も３度もあるものじゃありません。
合格通知を手にするその日まで，ぜひ受験勉強に燃えてください。

関 正生（せきまさお）

目　次

はじめに　授業の受け方と英語の勉強法
第１講　文型 - ①
第２講　文型 - ②
第３講　SV の把握
第４講　強調構文
第５講　倒置
第６講　接続詞 - ①
第７講　接続詞 - ②
第８講　因果構文・イコール構文

はじめに　授業の受け方と英語の勉強法

予習～授業～復習について

予習（45～100分くらい）

ポイントに目を通し，問題をすべて解いてください。和訳問題が中心となります。和訳は大変ですし，面倒ですが，きっちりと日本語にするよう努力してみてください。文法の問題なら答えを出すことがハッキリしているのでわかりやすいのですが，英文解釈の場合は「どうやって取り組めばいいかわからない」という悩みをよく聞きます。そこで，いくつか注意点をお話しいたします。

① まずは「構文をとる」

英文解釈は「構文を正確にとる」練習ですから，SVや，接続詞･関係詞などをきっちり確認していってください。これが一番大事な作業です。知らない単語が出てきても，今は構文をとることを優先してください。

② 構文の次は「和訳する」

構文の次は「日本語訳」です。「単語をつないだだけ」の訳ではなく，きちんと「構文を意識しながら，その構文を反映した日本語訳」を書いてください。辞書はまだ引かないでください。

③ 何度でも読み直す

次に…　まだ自力で読んでみてください。1回で理解できるなんてことは稀です。3回でも4回でも読んでください。

④ 知らない単語の「品詞を考える」

ほとんどの受験生が「和訳をしながら辞書を引く」のですが，ボクが考える効率的な勉強法では順番が逆です。構文をとって，その構文を意識しながら和訳していくわけですが，その中で知らない単語が出てきても，和訳を続けてみてください。意味がわからなくても「品詞」ならわかることがよくあります。また，品詞を特定することで，だいたいの意味を「予測」できることもあるからです。

※この「わからない単語の予測」は，昔からよく言われるのですが，単に「予測しよう」と言われるだけでしたよね。みなさんは「品詞を絞ることで予測の精度が上

がる」ということをここで知っておいてください。

⑤ どうしても気になる単語から「辞書を引く」

それでもわからない単語だけを辞書で確認してみてください。それによって他のわからない単語の意味を予測できるかもしれません。

※まちがっても，知らない単語が出てくるたびに辞書を引きながら読んでいく，なんてことはしないように。ものすごく勉強の効率が悪くなります。

英文解釈では，構文を意識することが大事なので，「日本語としての自然さ」は，この段階ではさほどこだわらなくて大丈夫です。

⑥ 和訳の後に「辞書を引く」

品詞を絞って，（場合により）ある程度の意味を予測できたら，知らない単語を辞書で確認してください。予測が当たれば強く記憶に残ります。予測が外れても，それはそれで印象に残るでしょう。

また，すでに品詞を特定しているので，辞書を引いたときにお目当ての品詞のところからすぐに意味を探せるはずです。つまり，調べている単語が「名詞」だとわかれば，辞書でその単語が「動詞」から始まっていても，そこは一気にスルーして，「名詞」のところからチェックすればOKなのです。

最後に各講の「重要語彙リスト」をチェックしてから授業を受けてください（リストはX～XVIIページに出てきます）。

授業（約 60 分）

●板書なんて写さなくていい

授業の解説を聞いて「理解」することに全神経を注いでください。

今までの授業のクセで「何でも写そうとする」必要はありません。

ボクの授業は徹底的に「理解させる」「その場で覚えさせる」ことを目標にしていますので，理解できたことは書く必要はありませんし，念のためメモするにしても，今までとは比較にならないほどのスピードと鮮明度でメモできるはずです。

●模範の「和訳」も書かない！

とても重要なことですが，「解答例としての和訳を書く」のもやめましょう。絶対にやめましょう。おそらく今まで英語の授業を受けてきて，教師が書く和訳を必ず写してきたと思います。でも，ただ写すだけの行為は無駄でしかありません。

和訳例・模範解答は，テキストの解答部分に書いてあります。ですから，授業中はボクの解説に集中してください。そこで「メモ」をする必要があればしてください。でも，ただ日本語訳を写すのは無意味です。きちんとポイントを理解して，何度も英文を読む… それを繰り返した後に，「自力で」日本語訳を作ることには大きな意味がありますので，ぜひそういう意味のある勉強をしていってください。

今までの「板書を写す授業・和訳を写す授業」から，「本当に理解する授業」にシフトしてください。受験勉強の効率が格段に向上して，英語力の伸び方が劇的に変わってきますよ。

●ポイントごとに「1 分間復習」を

１つのポイントが終わるごとにチャプターを切ってあります。

一気に次のチャプターに行くのではなく（そのヤル気はすごく良いと思いますが），必ずその場で，そこまでの内容を１分復習してください。

集中した 1 分の復習が驚くほど理解・記憶を鮮明にします。

この「1 分間復習」は，今まで 25 年間ボクの授業で毎回行っていることです。

1 時間の授業で，数回は行います。画面越しに強制はできませんが，ぜひやってみてください。頭の中が整理されるので，次のポイントに集中できるメリットもあるんです。

復習（音読30回／理想は50回）

●英文の復習として効果抜群なのが「音読」

きちんと理解した英文を何度も音読して脳に染み込ませてください。1つの英文を最低30回，できれば50回の音読が目標です。

音読はいろんなところで勧められますが，最大の効果はほとんど語られません。実は音読というのは「英語を英語のまま処理できる力」を養う効果があるのです。

1，2回英文を読んだだけでは，「いちいち日本語に置き換えて理解する」という状態ですが，何度も音読をして英文を脳に染み込ませることで，「（日本語に置き換えずに）英語のまま理解できるようになる」んです。当然，英文を読むスピードが劇的に上がります。
当然，それだけすごいことですから時間はかかります。目安としては，毎日30分音読に使ったとして，効果が出るのに3ヵ月くらいかかると思ってください。しかしそれだけの時間をかける価値があります。

●音読の「注意点」

⑴　「大きい声」に意味はない
音読は必ず声に出してください。黙読だと難しい箇所を無意識のうちに飛ばしてしまうからです。でも大声に意味はないので，ボソボソでOKです。ボソボソ音読なら場所をあまり選びませんから，確実に続けることができます（カフェ・電車・バスの中でも隣に人がいなければOKでしょう）。

⑵　何を意識するのか？
①　文法・構文を意識して10回
まずは構文解析（主語や動詞など）を意識しながら10回，じっくりと。この時点では，構文解析として書き込んだカッコやメモを見ながら，ときには日本語訳を確認しながら，ゆっくりでOKです。

②　内容を意識して10回
次に英文を読みながら「意味・内容が浮かぶように」10回音読してください。内容優先ですから，自分で理解できるスピードでOKです。

③　スピードを意識して10回

ここまでにじっくり20回読んでいるので，そろそろスピードを上げることができるはずです。「自分が本番で読むときの理想のスピード」に徐々に近づけながら読んでみてください。

⑶　スケジュール

①　目安は1日30分, 音読に使ってください。3ヶ月くらいで効果が出るはずです。

②　同じ英文を一気に30回も読む必要はありません。1日5回×6日＝合計30回が目安です。

※ちなみに音読用の英文としては，解答の方にテキストと同じ英文を載せておきますので，それを利用してください。講義内の「音読トレーニング」の音声も活用してください。

カッコの使い分け

⑴　名詞句・名詞節 → <　　　>　※名詞は重要なので，目立つ <　　　> を。
⑵　形容詞句･形容詞節 → [　　　]　※英語の辞書では, in[on] と書いてあった場合, in=on が成り立ちます。the boy [who is tall] ならば，the boy=who is tall が成立するので，形容詞には [　　] を使っています。
⑶　副詞句･副詞節 → (　　　)　※副詞は「なくてもかまわない要素」なので, (　　　) を使います。

第１講　重要語彙リスト

＊授業を受ける前に最低限知っておいて欲しい語句です。

予習の際に語彙が難しいと感じた人は，ここで重要語彙をチェックしておきましょう。

1	at that time	当時
2	try to ～	～しようとする
3	shout out	叫ぶ
4	throat	喉
5	open	開いている
6	trust	信用する
7	harm	害
8	textbook	教科書
9	good-bye	さようなら

第 1 講　文型 - ①

前提知識の確認

☆用語をしっかり確認しておきましょう。

文の要素

	記号	記号の意味	働き	この要素になれる品詞
主語	S	subject （主語）	文の主体（メイン・主人公） を示す	名詞
動詞	V	verb （動詞）	「～する」「～である」に当たるもの 動作・状態を表す	動詞
目的語	O	object （目的語）	動作の対象・目的物を表す語 （主に「○○を」や「○○に」）	名詞
補語	C	complement （補語）	主語・目的語の内容を補う語	形容詞・名詞
修飾語	M	modifier （修飾語）	修飾する （より詳しく説明する）働き	副詞・形容詞 前置詞のカタマリ

☆どの品詞がどんな働きになるかを覚えておきましょう。

品詞から考えると…

名詞　　S ／ O ／ C のどれかになる

形容詞　C ／ M のどちらかになる

副詞　　M になる ※ here ／ there ／ home はすべて副詞

☆“前置詞＋名詞”のカタマリも M になります（厳密に言えば，名詞を修飾するときは「形容詞句になる」，動詞などを修飾するときは「副詞句になる」といいます）。

☆５つの文型をパッと言えるようにしておきましょう。

【文型】

第１文型 **SV** 主語＋動詞の形
※ M がくっついて，SVM（主語＋動詞＋副詞）の形になることがほとんど

第２文型 **SVC** 主語＋動詞＋補語の形
※補語には形容詞がくることが多い

第３文型 **SVO** 主語＋動詞＋目的語の形
※目的語になるのは名詞

第４文型 **SVOO** 主語＋動詞＋目的語＋目的語の形
※“主語＋動詞＋人＋物”の形がほとんど

第５文型 **SVOC** 主語＋動詞＋目的語＋補語の形
※補語には「形容詞・分詞（-ing ／ p.p.）・動詞の原形など」がくる

ポイント❶　５文型の全体像

【予習】

各英文を和訳してください。

（英文のすぐ下１行は空けておくこと）

1. You'll get to the airport by three o'clock.

2. He got angry.

3. Let's get some fresh air.

4. John's parents got him a new smartphone for Christmas.

5. The news got my family excited.

NOTE

ポイント❷　第１文型

【英語の核心】

第１文型　**SVM**

Time flies.

proverb

光陰矢の如し。

ことわざ

■ 入試問題演習

⑴　次の英文を和訳しなさい。

Many people settled in Brazil at that time.

⑵　次の英文の下線部を和訳しなさい。

The woman tried to shout out “Help!” but the word stuck in her throat.

※ throat　「喉」

ポイント❸　第２文型と第３文型

【英語の核心】

第２文型　**SVC**

第３文型　**SVO**

☆ S V that ～「S は～と【　　　　　　　　　　　　】」という意味になる

Dreams come true.

proverb

夢ってかなうんだよ。

ことわざ

■ 入試問題演習

(1)　次の英文を和訳しなさい。

The window remained open.

(2)　次の英文を和訳しなさい。

Tom declared that he trusted what his girlfriend said.

ポイント❹　第 4 文型

【英語の核心】

第 4 文型　**SVOO**

※ SVOC は第 2 講で詳しく扱います。

■ 入試問題演習

(1)　次の英文を和訳しなさい。

I will lend Mike my textbook.

(2)　次の英文を和訳しなさい。

She waved him good-bye.

テキスト解答解説

第１講 文型 - ① 解答

p.3

【予習】

1. 和訳 第１文型／３時までには空港に着くでしょう。

   英文 You'll get to the airport by three o'clock.

2. 和訳 第２文型／彼は怒った。

   英文 He got angry.

3. 和訳 第３文型／新鮮な空気を吸おうよ。

   英文 Let's get some fresh air.

4. 和訳 第４文型／クリスマスにジョンの両親は，ジョンに新しいスマートフォンを買ってあげた。

   英文 John's parents got him a new smartphone for Christmas.

5. 和訳 第５文型／その知らせを聞いて，ウチの家族はワクワクした。

   英文 The news got my family excited.

p.6

■ 入試問題演習

⑴ 和訳 当時，たくさんの人がブラジルにいた（定住した）。

英文 Many people settled in Brazil at that time.

語句 settle「移住する・定住する」

⑵ その言葉は喉にあった・つまった（声にならなかった）。

和訳 その女性は「助けて」と叫ぼうとしたが，<u>その言葉は喉にあった・つまった（声にならなかった）</u>。

英文 The woman tried to shout out "Help!" but <u>the word stuck in her throat</u>.

語句 stick「動かなくなる」

p.8

■ 入試問題演習

(1) 和訳 その窓は開いたままだった。

英文 The window remained open.

(2) 和訳 トムは自分の彼女が言ったことを信用すると言った（断言した）。

英文 Tom declared that he trusted what his girlfriend said.

語句 declare「断言する」 trust「信用する」

p.10

■ 入試問題演習

(1) 和訳 私はマイクに教科書を貸すつもりだ。

英文 I will lend Mike my textbook.

(2) 和訳 彼女は彼に手を振ってさよならをした。

英文 She waved him good-bye.

語句 wave「手を振る」